



およその大きさ 2.8×2.5×1m (コンクリートに岩塊を埋設)

形の特ちょう (ニックネーム)

溶岩の山

色の特ちょう

- ・ 黒色～暗灰色

表面の特ちょう

- ・ ひとつかかえほどの多孔質の溶岩塊をコンクリートに固定したもの



あめ色のかんらん石と右下に白色の斜長石→

側面の特ちょう

- ・ 溶岩の断面が見える→全般的に多孔質で、随所に大型化した孔がある
- ・ 岩石には結晶が散在している

含まれているもの

- ・ 結晶には白色鉍物(1mm前後・やや柱状～集合体：斜長石)が圧倒的に多いが、有色鉍物(あめ色1mm弱)もある。有色鉍物はかんらん石

その他の特ちょう

- ・ 一部を破断して観察 → 斑状組織 (肉眼では見えにくい細粒の結晶やガラス質=石基=のなかに大きな結晶=斑晶=が散在する組織)
- ・ 磁石によく付く (磁性鉍物が多い)

メモ

【観察メモ】

- * 溶岩とは地下のマグマが熔融状態で地表などに噴き出したもの、あるいはそれが冷却固結してできた岩石
- * この岩石の小孔は火山ガスの発生、随所の大きな孔はガスの集まり、長く伸びた孔は集まったガスの移動した痕

岩石名

溶岩 (玄武岩：火山岩)